



虹っ子だより

北本市立中丸東小学校

10月号 発行日:令和5年9月15日

30周年 中丸東 みんなでつなごう 笑顔のかけ橋

なかよくする子 たくましい子 進んで学ぶ子

な か ひ が

2023 夏の思い出

2学期が始まり2週間がたちました。身体や心のペースは戻りましたか？

まだまだ暑い日が続きますが、ふと吹く風に「秋の気配」を感じるようになりましたね。このあと9月末（30日）には運動会が、そして来月21日には「30周年記念式典」が行われます。充実した2学期としていきましょう。

2023年 夏の思い出

夏休み中たくさんの“子供たちの活躍”がありましたので紹介させていただきます。

○7月29日《防災キャンプ》

3年ぶりに実施された防災キャンプ。平成16（2004）年に「おやじの会」を中心にはじめられたのをきっかけに、以来、中丸東の児童が災害時の対応方法などを学んできました。「天災は忘れたころにやってくる」と昔から言われていますが、いざというときの「知恵」を身に着けることはとても大切なことですね。役員の方々、ありがとうございました。



○7月31日《小中合同サミット》



北本市では、いわゆる「中1ギャップ」の解消や学びの継続性を高めるために中学校と小学校の連携を深めています。多くの教員が小学校勤務と中学校勤務を入れ替えたり、兼務発令を行い授業を担当したりして子どもたちの成長を見守っています。

本校は、東中学校、東小学校とともに「東中学校区」として取り組んでいます。

その取組の1つとして、小学校児童会と中学校生徒会の役員が集まり、3校共通の課題解決に向けて、3校で取り組めることを話し合う「サミット」が行われました。

3校共通の課題として「自尊感情」が成長に応じて低下することがあげられ、その解決のための取組を児童会・生徒会のメンバーで話し合いました。自分たちで課題に向き合う子どもたちの姿は素敵でした。

○7月28日《南部地区人権教育実践報告会 代表発表》

本校5年生の岡谷 尊 君の人権作文が埼玉県の優秀作品に選ばれ、7月28日に児童代表として、発表・朗読を行ってくれました。

「差別のない世界へ」

「ダウン症候群」という言葉を知っていますか。僕のいとこのお兄ちゃんは、「ダウン症候群」という障害があります。

調べると、「ダウン症候群」とは二十一番目の染色体の異常で、知的障害、小頭症、低身長などの症状が現れます。また、くっきりとした二重まぶた、低い鼻、まっすぐな後頭部など見た目にも特徴があります。どの国でも八百人から千人に一人の割合で生まれているそうです。

お兄ちゃんは、二十九歳です。いつでも僕や僕の兄に優しく話をしてくれます。「ダウン症候群の子は天使」とよく言われます。それは、表情が穏やかでいつも笑っているように見えるからだと言いました。お兄ちゃんの表情もいつも素敵です。八年前に亡くなったおじいちゃんは、初孫だったお兄ちゃんのことを、とても可愛がっていたそうです。また周りのみんなからとても愛されています。

お兄ちゃんは、大好きなキャラクターの帽子をかぶったり、毎日そのキャラクターのマスクをしたりして仕事に行っています。サッカーとダンスがとても上手くて、僕と僕の兄と公園で遊んでくれます。僕が小さい頃から、会うといつも頭を優しくなでてくれました。今の僕とお兄ちゃんの挨拶は、僕から手を出しハイタッチするというものです。僕はお兄ちゃんとのこの挨拶が大好きです。食べ物も好き嫌いがなく、何でも美味しそうに食べます。優しいお兄ちゃんは、働いているところで育てているトマトを僕達にくれて、僕は嫌いだったトマトが食べられるようになりました。

お兄ちゃんは、時々、自分で気持ちを抑えることができなくなり、大声を出したり、テーブルを叩いたりすることがあるけれど、時間が経つと収まります。「障害がある人」というだけで、変な目で見ないでください。お兄ちゃんは、話し方が少しゆっくりだけど、ちゃんと聞いてあげると会話もできます。その行動の理由が分かりにくいこともあるけれど、よく聞いたり、見たりしていると、お兄ちゃんなりの理由があるのです。「障害があるから何かをしてあげないと」、「助けないと」と難しく考えなくてもいいのだと思います。お兄ちゃんがここにいてくれるだけで僕たちは幸せな気持ちになるからです。

お母さんが好きな、あるお笑い芸人さんの「生きてるだけで丸儲け」という言葉を前にテレビで聞きました。その言葉をもとに兄が作った標語があります。「だれだって生まれた時から宝物」。そう、みんな宝物だと思いませんか。僕は、両親から宝物だと言ってもらえて嬉しかったです。一人一人が特別でかけがえのない存在だと考えられる世界になれば、障害者差別だけでなく、人種差別や男女差別、色々な差別がなくなると思います。そして、そんな世界になることを僕は願います。

「ダウン症候群」お兄ちゃんは、毎日元気に仕事に行ってます。僕はこれからもそんなお兄ちゃんを見守り、お兄ちゃんのペースと一緒に歩いていけたらなと思います。



岡谷くん素敵な作文、ありがとう。人間にはいろいろな特性があります。それぞれの特性を大切に、その人のペースで人生を一步ずつ歩いていくことが大事だと改めて感じました。

○8月19日《親子除草》

夏休み中に校舎内の清掃、校庭の草取りなどを行っていただきました。トイレもみんなできれいにしてくれました。

気持ちよく2学期が迎えられました。ご協力ありがとうございました。

また今回もPTA役員さんからアイスのプレゼントがありました。ありがとうございました。



○8月22日《一日北本子供市長体験》

北本市内の7つの小学校の各学校代表が集まり、「1日市長」を体験しました。

中丸東小学校からは、6年生の石川菜々海さんが参加してくれました。

【石川さんの感想】



一日北本子供市長体験では、議場へ行き市長席に座ったり、決裁を経験したり貴重な体験をたくさんすることができました。市長の仕事を実際に経験することで、市長や市長のまわりで働く人々の大切さを感じられた一日になりました。

この貴重な体験をこれからの学校生活でも活かしていきたいと思います。

運動会（9月30日（土）実施予定）に向けて 練習をがんばっています。



お願い

学校では、児童のバランス感覚の育成のために一輪車を活用しています。毎年、何台かずつ購入していますが、台数が足りず練習待ちの児童がいます。

もし、ご自宅で使わなくなった一輪車があった場合に可能でしたら寄付をお願いします。

各クラスの担任にお話してください。



開校30周年 記念式典について

おかげさまで平成5年に開校した中丸東小学校は、昨年度、開校30年目を迎えることができました。それを記念し、来月10月21日（土）に「30周年記念式典」を開催します。

コロナ禍も終息してきたとは言え、まだまだ流行拡大への対策を怠ってはならない中ですので、式典については運動会などと同様に来賓の招待は行わず児童、教職員、記念事業企画委員のみで行います。（※学校運営協議会委員は学校評価の一環としてご来校いただきます。）

※バザーはありません。

第一部 記念式典

- 1 開式のことば
- 2 国歌斉唱
- 3 校歌斉唱
- 4 校長式辞
- 5 記念品贈呈（PTAより）
- 6 地域の皆さんを代表して 学校運営協議会 会長
- 7 児童代表の言葉 児童企画委員長
- 8 全校合唱「Believe」
- 9 閉式のことば

第二部 児童の企画による虹っ子イベント

10:00～10:50 前半グループ

移動・準備

11:00～11:50 後半グループ

昼食 12:00～12:50

第三部 職員・保護者によるイベント

13:15～14:50

子どもたちの笑顔のために教職員・保護者が協力してゲームなどを行います。

15:00 帰りの会・下校

※第二部、第三部ともに入場は児童とボランティアの保護者の方のみとなります。

※10月の行事予定（下校時刻等）は、9月1日に発行した「学校だより」に掲載させていただきました。